

織田信長公 小牧山城築城 450 年協賛事業

当小牧山写真は「ふるさとの思い出写真集
明治大正昭和小牧」から引用（明治 35 年 1902 年撮影）

混声合唱組曲

1st: 心の四季

菅野弘作詞 眞田幸彦作曲

混声合唱のための童謡メドレー

2st: いつの日か

源田俊一郎 作曲

混声合唱組曲

3st: 近松恋物語

眞田幸彦作詞 菅野弘作作曲

・愛こそは - 「替掛戀心中」 ・雪の道行 - 「冥途の飛脚」 ・いつの世も - 「心中天の關鳥」

小牧混声合唱団記念演奏会

2013 年 2 月 17 日 (日)

午後 3:30 開演 (午後 3:00 開場)

小牧市 味岡市民センター

入場料 ¥1,500 全自由席

主催: 小牧混声合唱団 <http://www.geocities.jp/komakonto/>

共催: 小牧市、小牧市教育委員会

協力: パティオ池鯉鮒 (知立市文化会館)

後援: 小牧市音楽連盟、小牧豊山くらしのニュース

中日新聞社、中部ケーブルネットワーク

チケット申込 & 問合せ: 水野 0568-42-0711

mail yo_o-k.m.4awase@docomo.ne.jp



指揮 吉川 朗
ピアノ 竹内 理恵
合唱 小牧混声合唱団
近松恋物語合唱参加者
人形 ちりふ座 (文楽人形遣い)

文楽人形構成 木村 繁
文楽人形指導 豊松清十郎
文楽人形振付 竹内 菊
文楽人形企画 品川佳代
照明 平 博章
舞台監督 大渡 聡子

プロフィール

吉川 朗 (指揮)



愛知教育大学音楽科(ピアノ)卒業。同大学院(作曲)修了。

1990年より2000年までの間に名古屋芸術大学、名古屋オペラ協会、愛知県文化振興事業団、名古屋市文化振興事業団、名古屋二期会などに於いて40本以上のオペラ、オペレッタ、ミュージカルに

携わる。

R.M.E.(春日井)、豊明ひまわりコーラス、尾張旭市民合唱団、レイエム合唱団(小牧)指揮。さらに、小牧市民音楽祭、豊明市民フェスティバルなどで企画・構成・演出・指揮をし、独自の世界を創造している。

名古屋芸術大学音楽学部オペラ研究室実技補助員、大垣女子短期大学非常勤講師、NHKナゴヤ・ニューサウンズ・オーケストラ指揮者を経て、現在フリー。

小牧混声合唱団



小牧市制45周年(2000年)時に発足。合唱指導に吉川朗、ピアノ伴奏に竹内理恵、ヴォイストレーナーに横井恵子を迎え、日本の歌・ポピュラー・ミュージカル・宗教曲・合唱組曲等を演奏してきた。2~3年ごとの演奏会、毎年小牧サマーコーラスフェスティバル、10年以上続くオーネスト小牧台の慰問演奏・賛助出演・地域や小牧市のイベント等に

も積極的に参加している。団員構成は大学生からベテランまで幅広い。団員は厳しい練習の中にも全員で創りあげる音楽の喜びを体感し、情熱的で多彩な指導者と支援してくれる家訓に感謝。きょうも音楽活動を広げている。 団員募集中!

竹内 理恵 (ピアノ)



愛知教育大学音楽科(ピアノ)卒業。同大学院芸術教育専攻演奏学(ピアノ)修了。日本ピアノ教育連盟第11回ピアノオーディション全国大会出場。名古屋市民会館主催第19回新進演奏家紹介コンサート・オーディションにて最優秀賞受賞。名フィルメンバー+αコンサート、ワルシャワ・フィルコンサートマスターとの共演による「ピアノトリオの夕べ」に出演。モーツァルト

「ピアノ協奏曲第20番K.466」、スクリャーピン「ピアノ協奏曲Op.20」、モーツァルト「ピアノ協奏曲第23番K.488」をオーケストラと共演。

現在、桜花学園大学、至学館大学、名古屋短期大学各非常勤講師。

パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) 指定管理者: ちりゅう芸術創造協会



平成12年7月に開館した知立市文化会館は、「パティオ池鯉鮒」の愛称のもと、地域の文化芸術の拠点として感動と元気をもち帰っていただくことを念頭に事業を展開している。市民からの多様な要望に応え、各種芸術分野(音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・大衆芸能等)の均衡・調和と、幼児から高齢者を対象にした事業企画をするともに、市民参加型ならびにプロとアマとの協働によるオリジナルな舞台芸術づくりにも力を注いでいる。平成14年より文化庁「芸術拠点館」(平成21年まで)、平成22年より、文化庁「優れた劇場」に指定される。

<http://www.patio-chiryu.com/>

木村 繁 (劇作家、演出家)



劇団前進座に在籍。その後東宝現代劇劇曲科で歌舞伎・商業演劇の研究。その後「浄瑠璃人形・雪をんな」の台本の種で人形劇団むすび座に所属。おもに大人対象作品の文芸演出にあたる。またヒトの心象をオブジェや群舞で表現する特異な演出手法が評価され、オブジェクトパフォーマンスシアターやパティオ池鯉鮒(知立市文化会館)、利賀フェスティバルなどを主要な活動の場にしながら演劇活動を展開。ほかに創作日本舞踊や現代舞踊の台本・演出など約300本を担当する。

竹内 菊 (舞踊家)



昭和6年森田鶴(赤堀鶴吉)師に入門。17年師が赤堀流創設と同時に赤堀流の菊の名を許される。51年赤堀鶴吉師没後独立し、竹内菊として流派にとられない独自の公演活動を開始する。58年度都市文化奨励賞。平成2年度名古屋市民芸術祭賞。5年度愛知県芸術文化選奨文化賞。愛知県助ソ文化使節団副団長としてのモスクワ公演、フランス、アメリカ:韓国、インドネシア、シンガポールなどで公演。平成11年名古屋市民芸術特賞。

ちりふ座



パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)のシアターカレッジ(舞台芸術実践講座)「講座文楽・人形遣い」より自立した団体。愛知県知立市を活動拠点とし、文楽人形を通じて、地域の芸術・文化団体として、2002年より伝統芸能活動を行っている。知立市には国指定重要無形民俗文化財「知立山車文楽」が1747年より今も継承され、隔年の5月の知立まつり大祭で知立神社に奉納上演されている。指導は五世豊松清十郎。現在座員21名。今回の公演には6名の人形遣いが出演する。

豊松 清十郎 (人形遣い) 人形浄瑠璃文楽座員



1969年4月、朝日座で初舞台。1971年4月 四代豊松清十郎に入門。豊松清之助と名のる。1984年11月、二代朝竹勘十郎門下となる。1986年11月、3世吉田義助門下となり、吉田姓を名のる。国指定重要無形民俗文化財「知立の山車文楽」の指導を長きに亘り行い、2000年開館。知立市文化会館シアターカレッジ「講座文楽・人形遣い」の講師を務める。2008年9月 第五世豊松清十郎襲名。

【受賞歴】1995年1月、第23回文楽協会賞。1998年7月、国協会賞。2001年1月、第20回国立文楽劇場文楽賞文楽奨励賞。2005年度第10回知立文化奨励賞受賞。

品川 佳代 (パティオ池鯉鮒事業係チーフ)



2000年よりパティオ池鯉鮒(知立市文化会館)に開業準備時より勤務。文化庁2010年公募の「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」に応募し、「優れた劇場」に指定される。国指定重要無形民俗文化財知立山車文楽の事務局を担当。山車からくり平治合戦を90年ぶりに復活上演させるなど、市民ニーズにあわせた多くの企画を実施。更に文楽人形をベースに舞踊・民謡・和楽器・調笑など、地域に合わせた新企画を次々と展開し、地域にとって必要な文化芸術を市民目線で実施。地域のプロデューサーとしての地位を確立している。